



## 春の害虫タカラダニの 予防対策、できてますか？

今年もコンクリートや外壁に小さな赤い粒が動いているのを見かける時期、そう、正体は（カバアナ）タカラダニかもしれません。

タカラダニは人を刺したり吸血したりすることはありません。タカラダニは屋外で発生し、体が小さいので狭い隙間から屋内に迷い込んでウロウロすることがあります。そんなタカラダニを気付かずに潰すと赤い体液がつき、血液と見間違われることもあります。

タカラダニは主にイネ科植物の花粉や微細な有機物を餌とするため、外壁や床面に凹凸や隙間に花粉がかかると、そこが活動・繁殖しやすい環境になります。特に日当たりの良い外周や屋上、アスファルト、建物南側の壁面やブロック塀などでよく見られ、乾燥した晴天の日向では特に活発です。対策は以下の4点を意識しましょう。

### ① 外周清掃で餌を除去！

コケ、落ち葉、土砂、粉じんを定期的に除去。出入口や窓、シャッター下は特に気をつけましょう。

### ② 清掃は水を使うと効果的！

タカラダニは水気が苦手。適度に水を用いた清掃を取り入れましょう。花粉の洗い流し、舞い上がり防止にも有効。

### ③ 隙間の管理も忘れずに！

扉下ブラシやパッキンの劣化、外壁クラックの点検・補修で侵入経路を遮断。特にコケや土が入り込むところに注意。

### ④ 初期の屋外対応で大量発生防止！

上記対策の実施確認、必要なら薬剤処理。屋外での点検と対策がカギ。

タカラダニは毎年ほぼ同じ場所・時期に発生します。過去の履歴を踏まえ、今のうちから外周を重点管理することが対策の近道です。予防、侵入防止、駆除でしっかり対策をしましょう。



図1.小さな赤いタカラダニ

日中、乾燥したアスファルトやコンクリートなどの表面を多数歩き回り、夜は隙間やコケの中で休んでいます。水が苦手な雨の日や地面を濡らすようにしていると活動が抑えられます。



今月の

おすすめ



### Elimina (エリミーナ)

次亜塩素酸水の専用噴霧器。カビ、ウイルスへの殺菌力が高く安全性の高い微細なミストが素早く部屋の隅々に届く。

## 今月の豆知識

## ソラマメの旬がやってきました

これから旬を迎えるソラマメ。ハウス栽培物は3～4月、露地物は4～6月が最盛期です。

大きくてずっしり重く実るさやが空に向かって上向きにつくことから「空豆」という説がありますね。実はソラマメは世界最古の栽培作物の1つです。古代エジプトやギリシャの遺跡から出土しており、紀元前7世紀頃には現在のイスラエル付近で栽培されていたという記録もあるそうです。

さやを開いた瞬間に広がる青い香りに春を感じ、可食部の豆も大きいです。捨てるさやの大きさに少し驚かされもします。鮮度の目安はさやにハリと輝きがあり、豆の形が外からもはっきり見えること。収穫後は豆の糖がデンプンに変わりやすく、風味が

落ちやすい野菜なので「買ったなら早めに食べる」が鉄則です。塩ゆでは短時間、またはさやごとグリルで蒸し焼きにすると、ほくほく感と甘みが際立ちます！

いつでも食べられる冷凍品は便利ですが、やはり旬のとれたてには味も香りも及びません。水分が多く、冷凍と解凍で細胞が壊れて食感が落ちやすいのが理由です。おいしく食べるコツは「解凍しない」こと。凍ったままさっとゆでる、またはフライパンで蒸し焼きにして水分を逃がさないようにするのがポイント！仕上げに少量のオリーブオイルやバターを絡めると、失われがちな香りとコクも補われます。

今が旬のソラマメ。冷凍ものに切り替わる前に短い旬の味わいを楽しみましょう！